

## あ と が き

「すすんで学び，豊かな表現で伝え合う児童の育成をめざして～国語科における「話すこと・聞くこと」の指導の工夫を通して～」という主題を掲げ，2年にわたって取り組んできた。

研究に当たっては，「豊かな表現で伝え合っている」状態を具体目標としてとらえ，目標に迫るために，「授業作り」「伝え合う力を高めるための系統的な取り組み」「個に応じた指導」「1人1人を生かす評価の工夫」「児童の望ましい学習習慣の育成」の五点に焦点を絞って取り組んだ。

どの学年の授業にも共通していたのが，「伝えようとしている内容」を，送り手も受け手も「伝える価値がある」と認識していたり，学習者が学習自体を楽しんでいた時には豊かな表現が成立しており，子どもたちから一生懸命の様子が伝わってきたことである。子どもたちが伝えたいと願う内なるパッションが何よりも大切であることが分かった。さらに子供たちに「伝えたいと願わせるような授業」への教師の思いも，授業成立の重要な要素であった。

伝え合う力＝コミュニケーション能力は，学習者自らが自分を高めようとする意識や意欲を持って初めて生きた力となることが再認識された。そして，授業の中だけでなく日常生活のうえでも，自分の考えや思いを確実に伝えたり，相手の言わんとすること聞き取ったりする力を高めていくことが今後の課題である。

子どもたちの確実な成長が頼もしく思える一年間だった。次年度の研究にさらに期待したい。

教頭 河 緒 敏 文

## 研 究 同 人

校 長	熊 谷 義 也	5 年 1 組	狩 野 均
教 頭	河 緒 敏 文	5 年 2 組	須 崎 美千代
教務主任	渡 部 定 男	5 年 3 組	高 橋 史 江
研究主任	三 塚 修	6 年 1 組	八 巻 淑 恵
1 年 1 組	高 橋 純 子	6 年 2 組	木 村 浩
1 年 2 組	伊 東 正 陽	6 年 3 組	澤 田 直 美
1 年 3 組	佐 藤 保 子	少人数	土 屋 薫
少人数	齋 藤 美恵子	たんぼぼ	片 柳 輝 夫
2 年 1 組	紺 野 みつえ	ひまわり	大 月 美 保
2 年 2 組	濱 本 かおり	こすもす	太 齋 登
2 年 3 組	菊 地 隆 夫	養護教諭	今 野 貴 子
2 年 4 組	安 達 淑 子	主査(事務)	佐 藤 まさ江
3 年 1 組	日 向 裕 子	栄養士	細 川 京 子
3 年 2 組	佐 藤 憲 子	技 師	佐 藤 千賀子
3 年 3 組	佐 藤 範 昭	技 師	相 澤 隆 弘
4 年 1 組	櫻 井 伸 子	技師(給食)	長 塚 浩 恵
4 年 2 組	渡 邊 浩 美	技師(給食)	宍 戸 良 美
4 年 3 組	赤 木 将 也	図書事務員	高 橋 典 子
少人数	宇和野 優里子	図書事務員	脇 神 博 子